

**Partial Translation of Japanese Laid-Open Patent Application No.08-194453
(Cited Document 2 cited in the Office Action of Japanese Patent Application
No.2007-100966)**

Paragraph [0022]

On the other hand, the number of times to display the advertisement information as use information is stored in a "number of times to display" storage area shown in FIG. 2 in a karaoke data storage device 10. This number of times to display can be automatically transmitted to a host computer 30 at every predetermined period, e.g., weekly or monthly, via a modem 18 by a number of times to display transmission management program 5c (shown in FIG. 1) provided in ROM 5. Period for the transmission is judged by a clock 6 connected to CPU 3. The host computer 30 can perform calculation or counting, etc., of advertising fees per the aforementioned period, for example, based on the number of times to display transmitted. It should be noted that this transmission can be manually done by key input, etc. from an input unit 9. Further, the number of times to display stored in the karaoke data storage device 10 can be reset in case where the number of times to display is transmitted. Furthermore, the karaoke data storage device 10 can store additional information such as data to identify advertising clients so as to transmit the aforementioned number of times to display along with the additional information. It should be noted that a routine for calculating advertising fees can be provided in the number of times to display transmission management program 5c, and that the karaoke device 1 can perform calculation of advertising fees based on the number of times to display of the aforementioned advertising information, and then the calculation result thereof can be transmitted to the host computer 30.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-194453

(43) 公開日 平成8年(1996)7月30日

(51) Int. Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 G 5/00	5 1 0 B	9377-5H		
	Q	9377-5H		
G 0 9 F 27/00	N			
G 1 0 K 15/04	3 0 2 D			

審査請求 未請求 請求項の数8 F D (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平7-24662

(22) 出願日 平成7年(1995)1月18日

(71) 出願人 000005267

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(71) 出願人 593118601

株式会社エクシング

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地

(72) 発明者 浦野 隆好

名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地 株式会社エクシング内

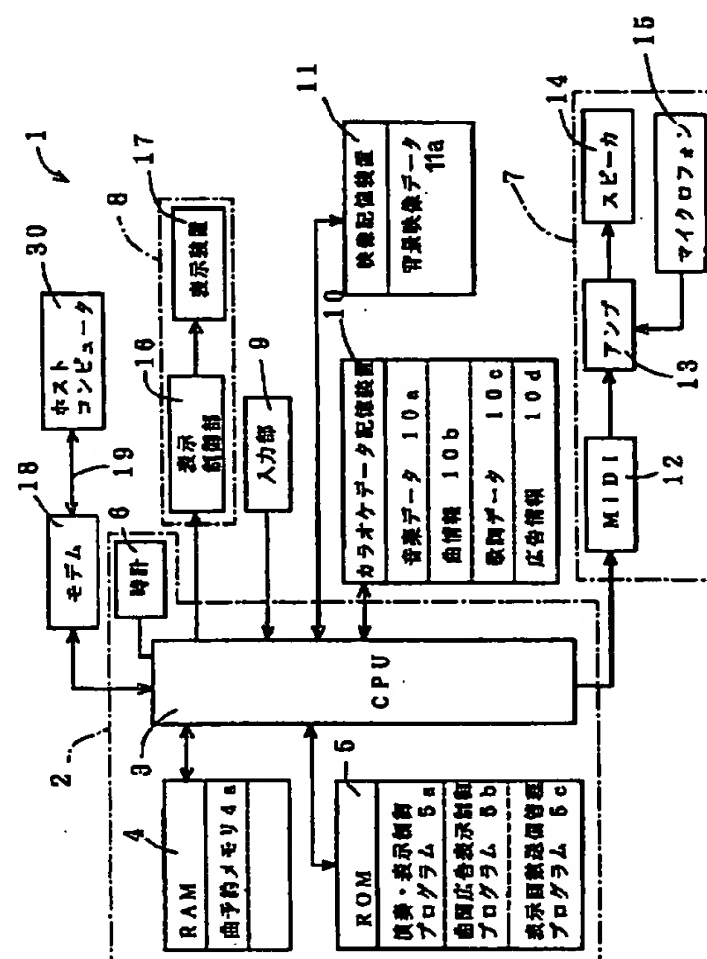
(74) 代理人 弁理士 菅原 正倫

(54) 【発明の名称】 カラオケ装置

(57) 【要約】

【目的】 CM使用曲等が演奏された場合に、そのCMの商品名や会社名等を効果的にアピールすることができ、ひいては広告の機会としても積極的に利用が可能なカラオケ装置を提供する。

【構成】 カラオケ装置1は、演奏曲の音楽データ10aを記憶した演奏曲記憶手段10、演奏曲を設定する演奏曲設定手段9、その演奏曲設定手段9により設定された演奏曲の音楽データを演奏曲記憶手段10から読み出して、演奏曲の演奏を行う音楽演奏手段7、演奏曲の歌詞、背景映像等の映像を表示する表示装置17、演奏曲と関連する広告情報を記憶する広告情報記憶手段10、及び広告情報表示制御手段2を備える。広告情報表示制御手段2は、広告情報記憶手段10から広告情報を読み出して、演奏曲の演奏中又は演奏の前後にその広告情報を表示装置17に表示させる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 演奏曲の音楽データを記憶した演奏曲記憶手段と、

前記演奏曲と関連する広告情報を記憶する広告情報記憶手段と、

その広告情報記憶手段から読み出された広告情報を表示する広告情報表示手段と、

を備えたことを特徴とするカラオケ装置。

【請求項 2】 演奏曲の音楽データを記憶した演奏曲記憶手段と、

演奏曲を設定する演奏曲設定手段と、

その演奏曲設定手段により設定された演奏曲の音楽データを前記演奏曲記憶手段から読み出して、前記演奏曲の演奏を行う音楽演奏手段と、

前記演奏曲と関連する広告情報を記憶する広告情報記憶手段と、

前記演奏曲の歌詞あるいは背景映像等の映像を表示する映像表示手段と、

前記広告情報記憶手段から前記広告情報を読み出して、前記演奏曲の演奏中又は演奏の前後にその広告情報を前記映像表示手段に表示させる広告情報表示制御手段と、を備えたことを特徴とするカラオケ装置。

【請求項 3】 前記演奏曲と関連付けられた曲情報を記憶する曲情報記憶手段を備え、

前記広告情報表示手段又は前記映像表示手段は、前記曲情報記憶手段から読み出された曲情報に対応する演奏曲と関連する広告を表示するものである請求項 1 又は 2 に記載のカラオケ装置。

【請求項 4】 前記広告情報記憶手段に記憶された広告情報に対し、予め定められた条件に基づいて、その広告情報を前記広告情報表示手段又は前記映像表示手段に表示するか否かを判定する表示判定手段を備える請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のカラオケ装置。

【請求項 5】 前記表示判定手段は、予め定められた表示期間に基づいて、前記広告情報を表示するか否かを判定するものとされる請求項 4 記載のカラオケ装置。

【請求項 6】 前記広告情報を受信する広告情報受信手段を備える請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載のカラオケ装置。

【請求項 7】 前記広告情報表示手段又は前記映像表示手段に表示された前記広告情報の表示回数を記憶する表示回数記憶手段を備える請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載のカラオケ装置。

【請求項 8】 前記広告情報の利用情報を送信する利用情報送信手段を備える請求項 7 記載のカラオケ装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、飲食店やカラオケボックス、家庭等に設置されるカラオケ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、テレビ等のコマーシャルメッセージ（以下、CM という）で使用されている曲が人気を呼び、飲食店やカラオケボックス等でもそうした CM 使用曲を好んで歌う人が増えてきている。この場合、それら飲食店やカラオケボックス等に設置されている従来のカラオケ装置においては、CM 使用曲も、また CM に使用されていない一般の曲も、特に区別することなく同じように演奏を行っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従って、上記従来のカラオケ装置においては、該当する CM を予めテレビ等で見聞していない限り、曲が演奏されてもそれが CM の使用曲であるかどうかは認識することができないし、仮に CM を見聞していても、それがどのような会社ないし商品の CM であったかを忘れている場合がある。すなわち、従来のカラオケ装置は、CM に採用された曲が人気を博して数多く演奏されたとしても、商品名や会社名が十分にアピールできているとは言い難く、広告の機会としての利用が図られていないのが現状であった。

【0004】 本発明は、CM 使用曲等が演奏された場合に、その CM の商品名や会社名等を効果的にアピールすることができ、ひいては広告の機会としても積極的に利用が可能なカラオケ装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記した課題を解決するために、本発明のカラオケ装置は、演奏曲の音楽データを記憶した演奏曲記憶手段と、演奏曲と関連する広告情報を記憶する広告情報記憶手段と、その広告情報記憶手段から読み出された広告情報を表示する広告情報表示手段とを備えたことを特徴とする。

【0006】 また、本発明のカラオケ装置は具体的に、下記の要件を備えたものとして構成することもできる。

①演奏曲記憶手段：演奏曲の音楽データを記憶する。

②演奏曲設定手段：演奏曲を設定する。具体的には、演奏曲を特定するデータ（例えば曲番号、曲名等）を入力して、所望の演奏曲を予約する手段として構成することができる。

③音楽演奏手段：演奏曲設定手段により設定された演奏曲の音楽データを演奏曲記憶手段から読み出して、演奏曲の演奏を行う。

④映像表示手段：演奏曲の歌詞、背景映像等の映像を表示する。

⑤広告情報記憶手段：演奏曲と関連する広告情報を記憶する。

⑥広告情報表示制御手段：広告情報記憶手段から広告情報を読み出して、演奏曲の演奏中又は演奏の前後にその広告情報を表示手段に表示させる。

上記構成においては、映像表示手段が広告情報表示手段に兼用されていると見ることもできる。

【0007】 上記カラオケ装置には、演奏曲と関連付け

られた曲情報を記憶する曲情報記憶手段を設けることができる。この場合、広告情報表示手段又は映像表示手段は、曲情報記憶手段から読み出された曲情報に対応する演奏曲と関連する広告を表示するものとされる。

【0008】また、カラオケ装置には、広告情報記憶手段に記憶された広告情報に対し、予め定められた条件に基づいて、その広告情報を広告情報表示手段又は映像表示手段に表示するか否かを判定する表示判定手段を設けることができる。その表示判定手段は、予め定められた表示期間に基づいて、広告情報を表示するか否かを判定するものとして設けることができる。

【0009】さらに、上記カラオケ装置には、広告情報を受信する広告情報受信手段を設けることができる。また、広告情報表示手段又は映像表示手段に表示された広告情報の表示回数を記憶する表示回数記憶手段を設けることもできる。さらに、広告情報の利用情報を送信する利用情報送信手段を設けることもできる。この利用情報は、上記広告情報の表示回数や利用料金等を含むものである。

【0010】

【発明の作用及び効果】本発明のカラオケ装置においては、演奏曲記憶手段に記憶された演奏曲と関連する広告情報が広告情報記憶手段に記憶され、その広告情報記憶手段に記憶された広告情報が適宜読み出されて広告情報表示手段に表示されるので、CM使用曲等が演奏された場合に、そのCMの商品名や会社名等を効果的にアピールすることができ、ひいてはカラオケ装置を広告の機会としても積極的に利用することができる。

【0011】また、演奏曲記憶手段、演奏曲設定手段、音楽演奏手段、映像表示手段、広告情報記憶手段、及び広告情報表示制御手段を備えたカラオケ装置の構成によれば、その表示制御手段により広告情報記憶手段から広告情報が読み出され、演奏曲の歌詞や背景映像等を表示する映像表示手段に表示されることとなる。すなわち、演奏曲記憶手段、演奏曲設定手段、音楽演奏手段及び映像表示手段等を備えた既存のカラオケ装置に広告情報記憶手段及び広告情報表示制御手段を追加することにより、広告情報を効果的に表示できるカラオケ装置を簡単に構成することができる。

【0012】また、演奏曲と関連付けられた曲情報を記憶する曲情報記憶手段を備えた装置構成によれば、人気のある演奏曲の曲情報を上記曲情報記憶手段に記憶させておき、これを曲演奏の合間等に表示手段に表示させることができる。そして、表示手段にその曲情報に対応する演奏曲と関連する広告を表示することにより、広告の機会を拡大することができる。さらに、表示された広告情報の回数を記憶する表示回数記憶手段を備えた装置構成によれば、広告情報の表示回数を容易に知ることができ、広告表示料金等の計算を行うのに便利である。

【0013】

【実施例】以下、本発明のカラオケ装置の一実施例を図面を用いて説明する。図1は、本発明のカラオケ装置の構成例を示すブロック図である。カラオケ装置1は、CPU3、RAM4、ROM5、時計6等を含むコンピュータ2と、そのコンピュータ2に接続された音楽演奏手段としての音楽演奏部7、表示部8、演奏曲の予約等を行う演奏曲設定手段としての入力部9、カラオケデータ記憶装置10、映像記憶装置11等を含むものである。

【0014】コンピュータ2のRAM4には、予約された演奏曲の曲番号等、演奏曲を特定するためのデータを記憶する曲予約メモリ4aが設けられている。また、ROM5には、曲の演奏と、歌詞、背景映像及び広告情報の表示とを制御するための演奏・表示制御プログラム5a、及び曲演奏の合間（例えば曲演奏の前後）に広告情報を表示するための曲間広告表示制御プログラム5b等が格納されている。

【0015】次に、音楽演奏部7は、CPU2から送られてくる音楽データ10aに基づいて演奏音を生成するMIDI（Musical Instrumental Digital Interface）音源12、そのMIDI音源12に接続されたアンプ13、さらにそのアンプ13に接続されたスピーカ14及び歌唱するためのマイクロフォン15等を含む。また、表示部8は、表示制御部16と、映像表示手段としてのCRT、液晶ディスプレイ等の表示装置17等を備える。なお、後述の通り、この表示装置17は広告情報も表示し、広告情報表示手段を兼ねるものとされている。

【0016】次に、カラオケデータ記憶装置10は、ハードディスク装置、光磁気ディスク装置等により構成され、多数の演奏曲の音楽データ10a、曲名、歌手名、作曲者名、曲番号あるいは曲のヒット動向などに関するコメント等を含む曲情報10b、各音楽データ10aに対応する歌詞データ10c等に加え、広告情報10dが記憶されている。すなわち、カラオケデータ記憶装置10は広告情報記憶手段を兼用するものとされている。また、映像記憶装置11は光ディスク装置、光磁気ディスク装置等により構成され、演奏曲に対応する複数の背景映像データ11aが記憶されている。ここで、背景映像データ11aは、演奏曲に一对一に対応するものであっても、対応しないものであってもいずれでもよい。図2は、カラオケデータ記憶装置10内における、広告情報10dを格納するための記憶エリア構成を示すものであり、演奏曲の曲番号、広告情報の表示内容、広告を表示する期間、広告を表示した回数等をそれぞれ記憶するエリアを含む。これら各データは、必要に応じてRAM4に読み込まれて使用される。

【0017】図1に戻って、コンピュータ2には広告情報受信手段及び利用情報送信手段としてのモデム18が接続されている。このモデム18は、電話回線、光通信ケーブル等の通信回線19を介してホストコンピュータ30から広告情報10dを受信し、コンピュータ2へ転

送する。また、広告情報 10d 以外に、新たに配信された演奏曲の音楽データ 10a、歌詞データ 10c 及び曲情報 10b 等も受信するものとされる。なお、コンピュータ 2 へ転送されたこれらのデータはカラオケデータ記憶装置 10 に記憶される。また、モデム 18 は、利用情報として、カラオケデータ記憶装置 10 内に記憶された広告情報の表示回数をホストコンピュータ 30 に送信する。ここで、広告情報受信手段及び利用情報送信手段を別々のモデムで構成してもよい。

【0018】以下、カラオケ装置 1 の作動をフローチャートを用いて説明する。図 3 及び図 4 は、演奏・表示制御プログラム 5a の流れを示すフローチャートである。まず図 3 の S1 において、入力部 9 から曲番号を入力することにより、所望の演奏曲の予約を行う。入力部 9 は、例えば CPU 3 に接続されたキーボード入力装置、あるいはキーボードを備えたりリモコンユニット等で構成される。なお、演奏曲の予約は、演奏曲が特定できるものであれば曲番号以外のデータ（例えば曲名等）を入力して行うようにしてもよい。次に、S2 において、入力された曲番号は RAM 4 の曲予約メモリ 4a に記憶される。そして、S3 において曲予約メモリ 4a に記憶された曲番号のうちの先頭のもが読み出され、S4 においてその曲番号に対応する音楽データ 10a が、S5 において歌詞データ 10c がそれぞれカラオケデータ記憶装置 10 から読み出される。さらに、S6 において演奏曲に対応する背景映像データ 11a が映像記憶装置 11 から読み出される。ここで、曲予約メモリ 4a に記憶された先頭の曲番号が読み出されると、以降に記憶された曲番号が順次シフトして、次の読み出しまで待機する。

【0019】次に、S7 において、演奏曲に対応する広告情報 10d がカラオケデータ記憶装置 10 に記憶されているかどうかを検索・判定する。この検索・判定は、一般には、演奏曲の曲番号と一致する番号を有する広告情報 10d が存在するか否かに基づいて行われる。そして、演奏曲に対応する広告情報 10d が存在すれば、S8 においてコンピュータ 2 の時計 6 を使用することにより、その広告データの表示期間中であるかどうかの判定を行う。すなわち、表示開始日を過ぎていて表示終了日が来ていなければその広告情報 10d を表示するものと判定する。この場合、コンピュータ 2 及び演奏・表示制御プログラム 5a が表示判定手段を構成することとなる。

【0020】次に、図 4 の S9 に進んで、その広告情報 10d をカラオケデータ記憶装置 10 から読み出す。そして、S10 において、読み出された歌詞データ 10c、背景映像データ 11a 及び広告情報 10d は、表示制御部 16（図 1）において映像信号に変換され、表示装置 17 に表示される。すなわち、表示制御部 16 は歌詞及び背景映像の表示制御部であると同時に、広告情報表示制御手段の一部をも兼ねるものとされている。また、S11

において、読み出された音楽データ 10a は MIDI 音源 12 により楽音変換され、アンプ 13 を介してスピーカ 14 より出力されて曲演奏が行われる。カラオケ装置 1 の使用者は、マイクロフォン 15 を使用し、表示装置 17 に表示される歌詞を見ながら歌唱を楽しむこととなる。また、S12 において、該当する広告情報に対し、図 2 の「表示回数」エリアに記憶された表示回数が 1 加算される。

【0021】ここで、広告情報 10d の表示の方法であるが、例えば図 5 に示すように、表示装置 17 の画面 20 の下寄りに歌詞テロップ 21 が表示されているとすれば、カラオケデータ記憶装置 10 において、図 2 の「表示内容」エリアに記憶された内容に基づく広告テロップ 22 を、画面 20 の上部等に静止的に表示することができる。このほか、歌詞の判読や背景映像の視認を極端に妨げない範囲であれば、上記広告テロップ 22 は画面 20 上のどの場所に表示してもよい。また、やや長い広告情報 10d を表示する場合は、画面 20 上の所定の領域において広告テロップ 22 を所定の方向に沿って、例えば右側から左側へ流れるように表示したり、静止した広告テロップ 22 を順次切り替えながら表示するようにしてもよい。また、図 6 に示すように、曲の演奏を開始するに当たって、曲のタイトルや作曲者等の曲情報 10b をカラオケデータ記憶装置 10 から読み込んで、これをタイトルバックとして画面 20 に表示する時に、広告テロップ 22 をこのタイトルバック中に取り込んで表示するようにしてもよい。また、広告テロップ 22 を、歌詞テロップや曲情報等とともに同一画面上に表示するのではなく、広告情報専用の画面を別途設定して、曲の開始時又は曲の終了時等にその専用画面において広告情報 10d を表示するようにしてもよい。

【0022】一方、利用情報としての広告情報の表示回数は、カラオケデータ記憶装置 10 において、図 2 に示す「表示回数」記憶エリア内に記憶される。この表示回数は、ROM 5 内に設けられた表示回数送信管理プログラム 5c（図 1）により、所定の期間毎に、例えば 1 週間あるいは 1 カ月毎にモデム 18 を介してホストコンピュータ 30 に自動的に送信することができる。その送信時期の判定は CPU 3 に接続された時計 6 を用いて行われる。ホストコンピュータ 30 側においては、送信された表示回数に基づき、例えば上記期間毎の広告表示料金の計算ないし集計等を行うことができる。なお、この送信は、入力部 9 からのキー入力等により手動で行うようにしてもよい。また、表示回数の送信が実行された場合に、カラオケデータ記憶装置 10 内に記憶されている表示回数をリセットするようにしてもよい。さらに、カラオケデータ記憶装置 10 に広告依頼主を特定するデータ等の付随情報を記憶しておき、上記表示回数をその付随情報とともに送信することもできる。なお、表示回数送信管理プログラム 5c に広告表示料金を計算するルーチ

ンを設けておき、上記広告情報の表示回数に基づく広告表示料金の計算をカラオケ装置 1 側で行って、その計算結果をホストコンピュータ 30 に送信するようにしてもよい。

【0023】一方、広告情報の表示回数や表示料金等の利用情報は、表示装置 17 や別途設けられたモニタ等の表示部に表示させることができる。ここで、その表示を行うための処理をプログラム化して ROM 5 等に格納しておけば、例えば入力部 9 や別途設けられた操作部からキー操作等を行うことにより、随時コンピュータ 2 に表示を実行させることができる。なお、利用情報の表示を行わせるに当たっては、所定のパスワードを入力しないと表示が実行されないようにしておくこともできる。また、利用情報は、表示装置 17 等に表示させる以外に、別途設けられたプリンタから印字出力させるようにしてもよい。

【0024】次に、図 3 の S7 において、演奏曲に対応する広告情報 10 d が存在しなかった場合、あるいは S8 において、広告情報 10 d が存在しても表示期間外であった場合には、図 4 の S13 及び S14 に進んで通常通り曲の演奏を行い、表示装置 17 には歌詞と背景映像のみ表示を行う。そして、曲の演奏が終了すると S15 において、曲予約メモリ 4 a に次の演奏曲の曲番号が記憶されているかどうかを判定する。記憶されていれば S3 に戻って、曲予約メモリ 4 a から次の演奏曲の曲番号が読み出され、以下同じ処理が繰り返される。また、記憶されていなければ S1 に戻って曲番号入力を待機する。なお、曲予約メモリ 4 a に曲番号が記憶されている場合でも、曲番号の入力は随時行うことができ、演奏曲の予約を行うことができる。なお、S16 において終了信号が検出されれば、処理は終了する。

【0025】上記述べた例においては、カラオケ演奏の際に広告情報を表示するようにしているが、演奏の合間（すなわち演奏の前後）に広告情報を表示することもできる。その一例を以下に説明する。本実施例においては、ROM 5 に格納された曲間広告表示制御プログラム 5 b が使用されることとなるが、その処理の流れを、図 7 に示すフローチャートを用いて説明する。まず、S20 において、カラオケ装置 1 が曲を演奏中であるかどうかを判定する。演奏中でなければ、S21 に進んでカラオケデータ記憶装置 10 から所定の曲情報 10 b を読み出す。ここで、読み出される曲情報 10 b は、例えば、特にリクエスト頻度の高い人気曲や話題性の大きい曲の曲番号、曲名、歌手名、及び若干のコメント等とすることができる。次に、S22 に進んで、読み出された曲情報に対応する広告情報 10 d が存在するか否かを判定する。そして、広告情報 10 d が存在すれば、その広告情報 10 d をカラオケデータ記憶装置 10 から読み出し、上記曲情報とともに表示装置 17 の画面 20 に表示する。

【0026】図 8 は、広告情報の表示例を示す。ここで

は、所定の期間中にリクエスト頻度が特に高かった曲の曲番号、曲名、コメント等の曲情報が、リクエスト頻度の高い順に表形式で画面 20 に表示されており、もしその曲に対応する広告情報が存在すれば、広告情報 10 d がコメント欄に表示される。ここで、前述の曲情報としてのコメントが存在する場合には、広告情報 10 はそのコメントとともに、あるいはそのコメントに置き代わって表示される。なお、S22 において曲情報に対応する広告情報が存在しなければ、広告情報 10 d の読み出しは行われず、コメント欄には曲情報のみが表示される（S24）。ここで、広告情報 10 d の表示方法としてはこれ以外にも、以降の演奏曲の予約状況を広告情報とともに表示したり、新譜情報とともに広告を表示するようにしてもよい。なお、上記プログラム 5 b の実行中に演奏・表示プログラム 5 a が起動されると、割り込み信号が発信されてプログラム 5 b の実行は中断され、代わって演奏・表示プログラム 5 a が実行されて、画面には歌詞や画像が表示されることとなる。そして、曲の演奏が終わり次第、曲間における広告情報表示のための処理がプログラム 5 b に基づいて再開される。

【0027】ここで、コンピュータ 2 は、モデム 18 及び通信回線 19 を介してホストコンピュータ 30 に接続されているので、広告情報 10 d、音楽データ 10 a、歌詞データ 10 c、背景映像データ 11 a、さらには曲情報 10 b 等のデータをホストコンピュータ 30 から随時受信することができる。また、上記データは図 9 に示すように、ホストコンピュータ 30 から通信回線 19 を介して複数のカラオケ装置 1 へ供給することができる。

【0028】なお、上記実施例において、音楽データ 10 a、歌詞データ 10 c、背景映像データ 11 a、曲情報 10 b 及び広告情報 10 d 等の各データが全て、ディスク等の記録媒体を介して供給される場合には、モデム 18 等の通信手段を省略することができる。また、カラオケデータ記憶装置 10 は、1 台の記憶装置で構成しても、複数台の記憶装置で構成してもいずれでもよい。また、映像記憶装置 11 をカラオケデータ記憶装置 10 に兼用させる構成も可能である。

【0029】広告情報 10 d は、曲の演奏中のみに表示したり、逆に、曲演奏の合間のみに表示するようにしてもよい。また、表示装置 17 に演奏曲の歌詞並びに広告情報のみを表示して、背景映像を省略する構成も可能である。さらに、図 1 の構成においては、歌詞や背景映像用の表示装置 17 が広告情報表示手段に兼用されているが、広告情報表示手段としての表示装置を別途設けてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明のカラオケ装置の構成を示すブロック図。

【図 2】カラオケデータ記憶装置内の広告情報記憶エリアの構成図。

【図3】演奏・表示制御プログラムの流れを示すフローチャート。

【図4】図3に続くフローチャート。

【図5】画面上への広告情報の表示例を示す模式図。

【図6】画面上への広告情報の別の表示例を示す模式図。

【図7】曲間広告情報表示制御プログラムの流れを示すブロック図。

【図8】曲間に広告情報を表示する例を示す模式図。

【図9】1台のホストコンピュータから複数台のカラオケ装置にデータを送信するシステムを示すブロック図。

【符号の説明】

1 カラオケ装置

2 コンピュータ（広告情報表示制御手段、表示判定手段）

5a 演奏・表示制御プログラム（広告情報表示制御手段、表示判定手段）

7 音楽演奏部（音楽演奏手段）

9 入力部（演奏曲設定手段）

10 カラオケデータ記憶装置（演奏曲記憶手段、広告情報記憶手段）

10a 音楽データ

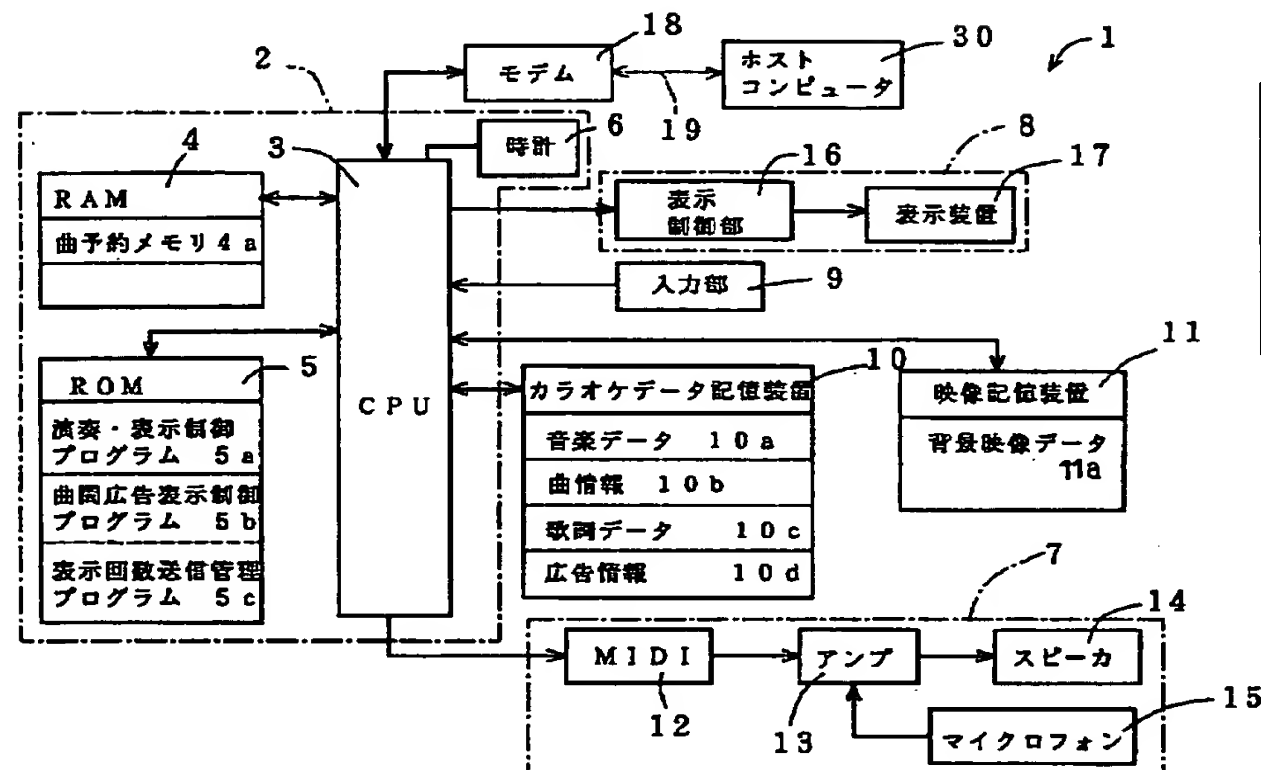
10b 曲情報

10d 広告情報

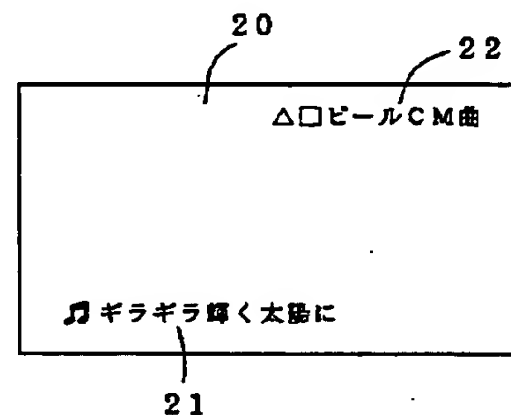
17 表示制御部（広告情報表示制御手段）

18 モデム（通信手段、広告情報送信手段）

【図1】



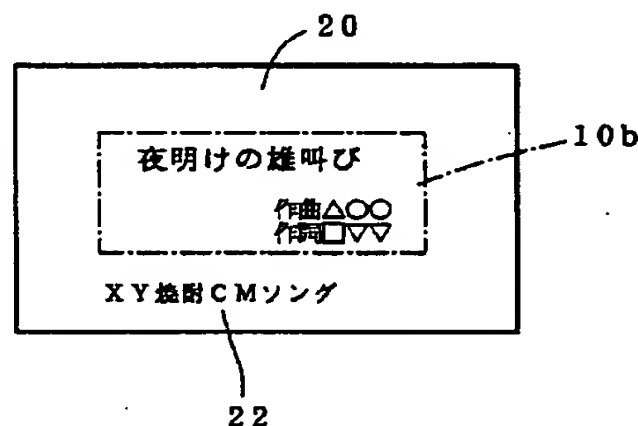
【図5】



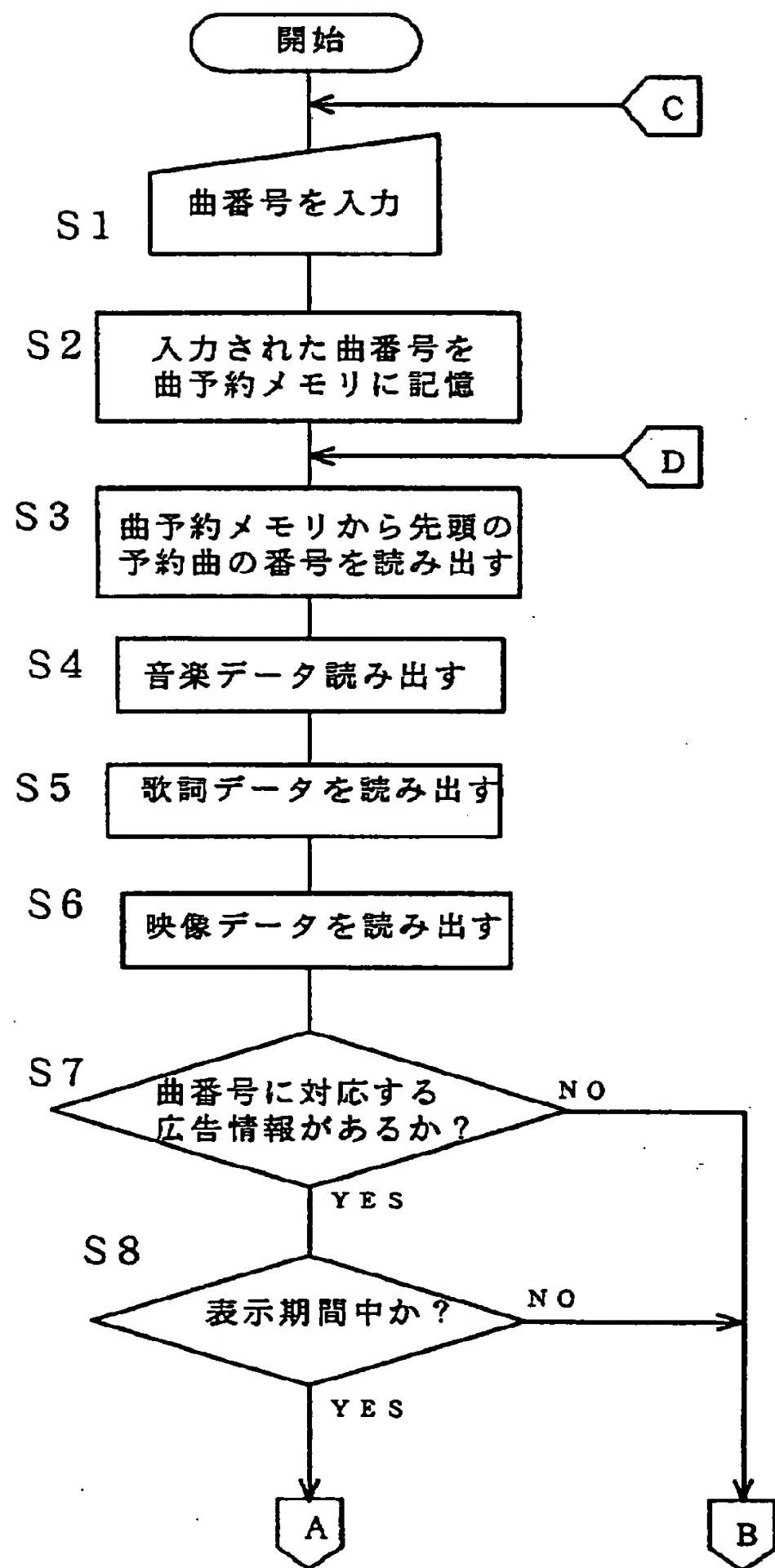
【図2】

曲番号	表示内容	表示開始日	表示終了日	表示回数
1001	△□ビールCMソング	1994.01.01	1999.12.31	1254
1002	△△コーラCMソング	1994.02.17	1994.05.31	0155
1003	○×コンピュータCMソング	1994.10.01	1994.11.30	0000
1004	××化粧品CMソング	1994.08.01	1995.05.31	0052
1005	○○放送CMソング	1994.01.01	1999.12.31	0824
1006	△×映画イメージソング	1994.04.01	1994.06.30	2570
1007	□□コンピュータ	1994.09.10	1999.12.31	0467
1008	KK電機	1994.03.01	1997.03.01	0021
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

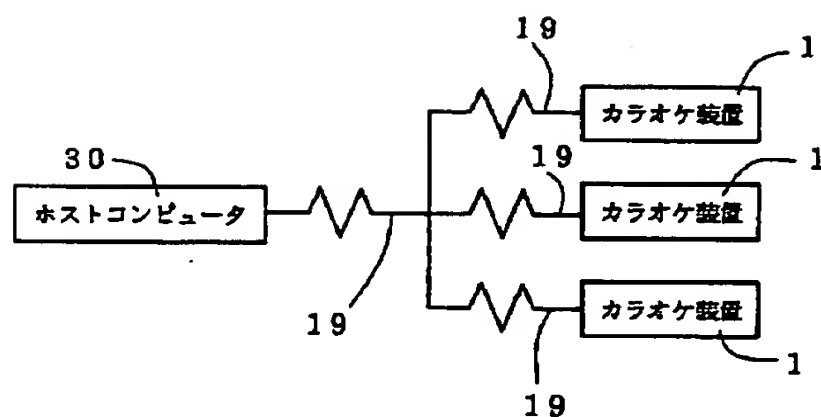
【図6】



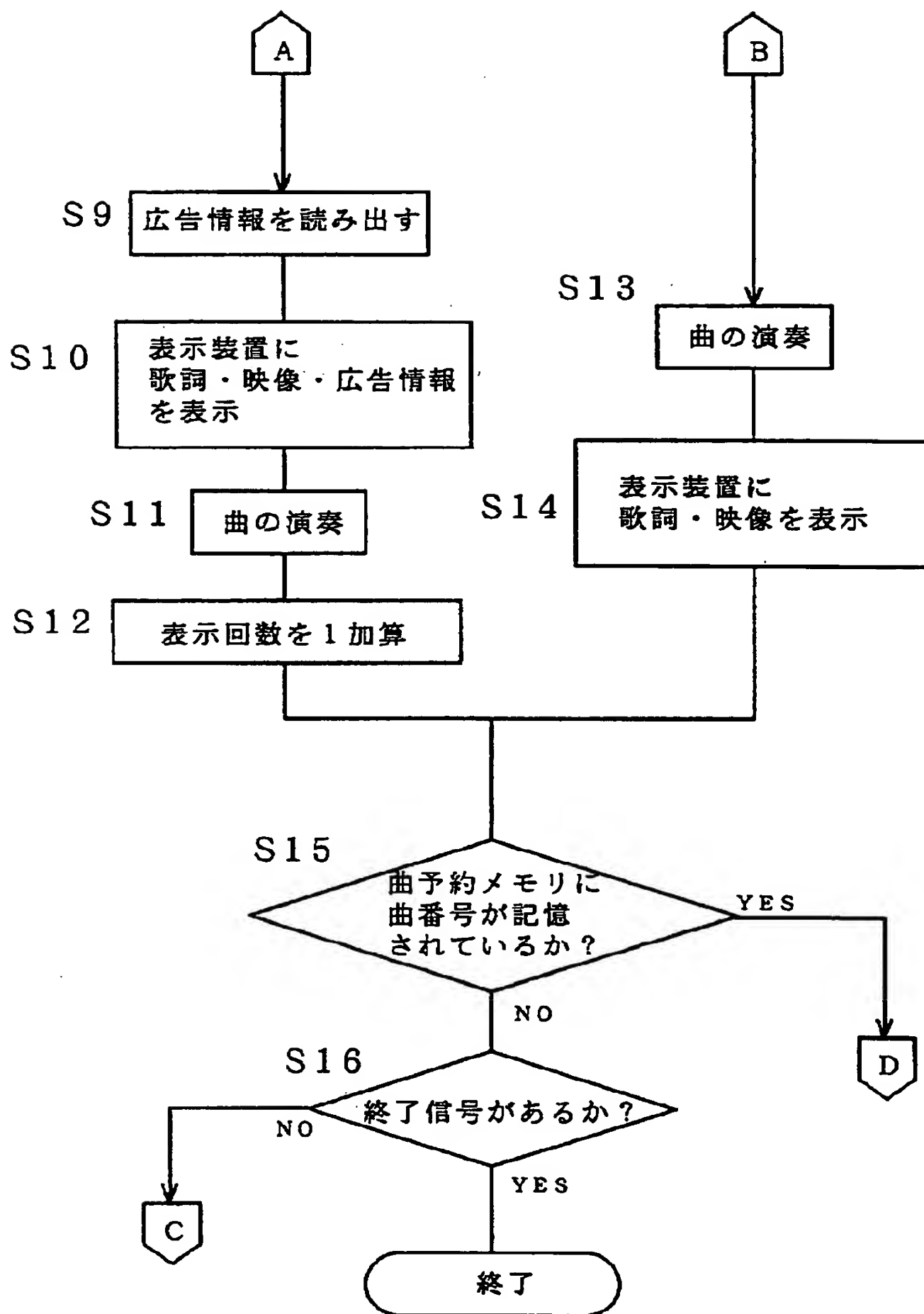
【図 3】



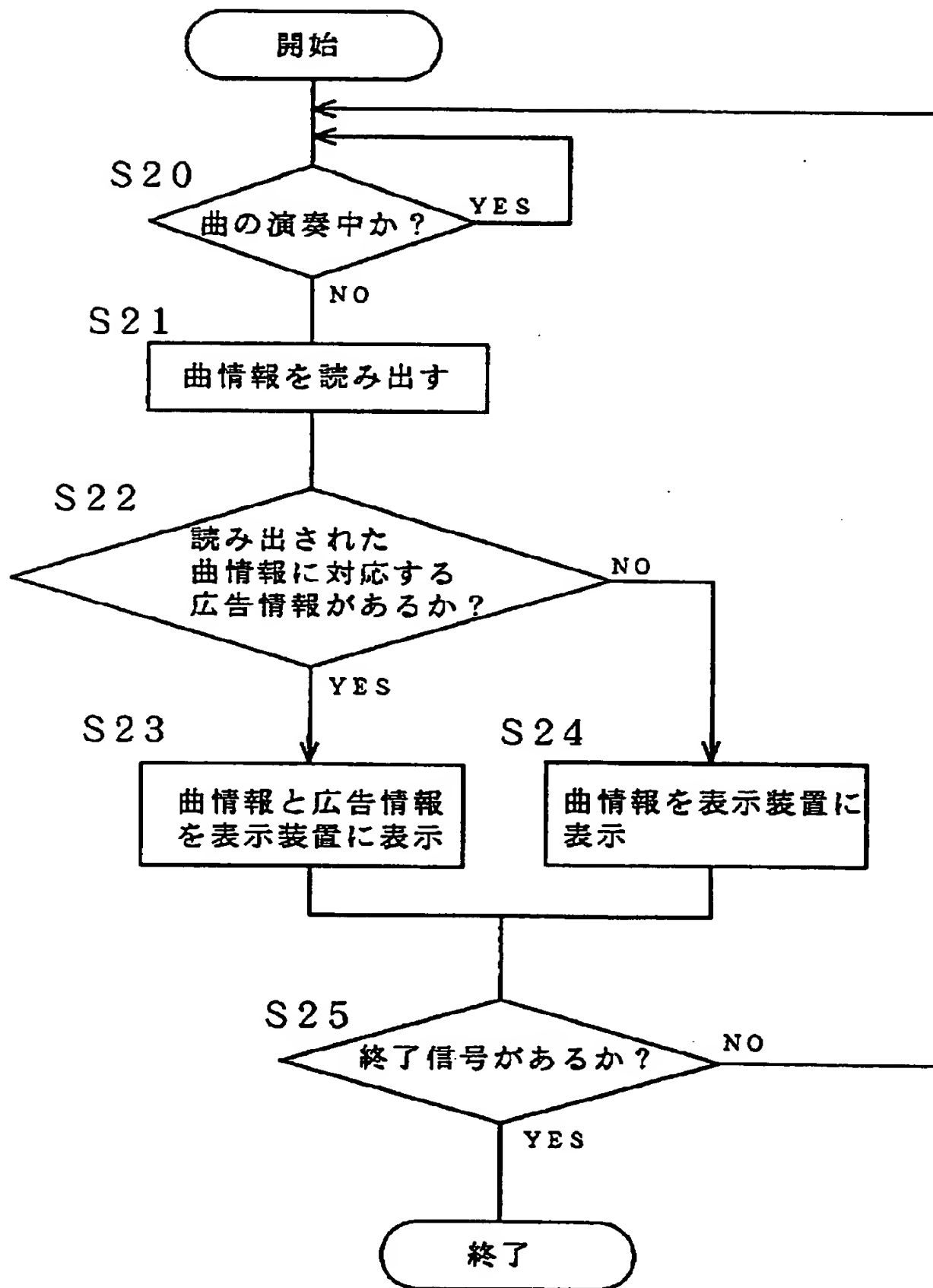
【図 9】



【図 4】



【図 7】



【図8】

12月のベストテン			
順位	曲番号	曲名	コメント
1	1005	△ × ○	4週連続1位
2	951	□ △ △	△□ビールCMソング
3	548	○ ○ ○	11月から2ランクダウン
4	262	△ △ △	○□ニューシングル。人気急上昇
5	874	× × ×	△×CMソング
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-194453
(43)Date of publication of application : 30.07.1996

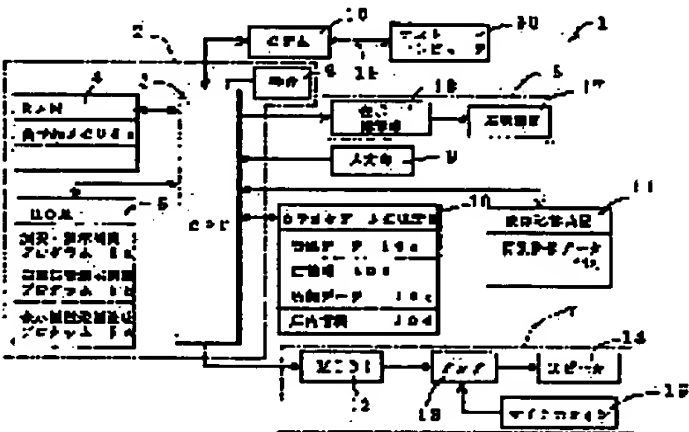
51)Int.Cl. G09G 5/00
G09F 27/00
G10K 15/04

21)Application number : 07-024662 (71)Applicant : BROTHER IND LTD
EKUSHINGU:KK
22)Date of filing : 18.01.1995 (72)Inventor : URANO TAKAYOSHI

54) KARAOKE DEVICE

57)Abstract:

PURPOSE: To provide a karaoke device which can effectively appeal for the merchandise name or the company name of a CM, and can also be utilized as a chance of advertisement positively.
CONSTITUTION: A karaoke device 1 is provided with a performing tune memory means 10 storing the musical data 10a of a performing tune, a performing tune setting means 9 setting the performing tune, a music performing means 7 reading the musical data of the set performing tune by the performing tune setting means 9 from the performing tune memory means 10 and performing the performing tune, a display device 17 displaying images such as performing tune words, back ground images, and the like, an advertisement information memory means 10 storing advertisement information relevant to the performing tune, and an advertisement information display control means 2. The advertisement information display control means 2 reads the advertisement information from the advertisement information memory means 10 and displays the advertisement information on the display device 17 during the performance of the performing tune, or before and after the performance.



LEGAL STATUS

Date of request for examination] 31.03.2000
Date of sending the examiner's decision of rejection]
Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
Date of final disposal for application]
Patent number] 3417707
Date of registration] 11.04.2003
Number of appeal against examiner's decision of rejection]
Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
Date of extinction of right]